

日本人は災害をどう生きたか～災害と文学～

「天災は忘れた頃にやってくる」。自然災害に関して、これほど有名な言葉はないだろう。文学作品で自然災害が描かれた場面を読んでいくと、その文章の見事な描写力によって、災害のことが深く心に残る。読者が災害に遭遇した時に、印象深い文章の記憶が、その人の生死を分けるかもしれない。それだけの喚起力を文学作品は持っている。（『大変を生きる－日本の災害と文学』より）読み継いでいきたい自然災害を描いた文学作品を紹介していく。

●吉村昭「三陸海岸大津波」 文春文庫

明治 29 年、昭和 8 年、そして昭和 35 年。青森・岩手・宮城の三県にわたる三陸沿岸は三たび大津波に襲われ、人々に悲劇をもたらした。大津波はどのようにやってきたか、生死を分けたのは何だったのか－或る婦人の体験談に、津波に追われながらふとふりむいた時、二階家の屋根の上にそそり立った波がのつと突き出たという話があった。深夜のことなので波は黒々としていたが、その頂きは齒列をむき出したように水しぶきで白くみえたという。その話に触発されて津波を調べ始めた。…それが、この一書である。（『三陸海岸大津波』まえがきより）



目次

まえがき 10

一 明治二十九年の津波 13

前兆 15

被害 28

挿話 36

二 昭和八年の津波 63

津波・海嘯・よだ 65

高波 71

前兆 76

来襲 88

田老と津波 95

住民 102

子供の眼 120

救援 142

三 チリ地震津波

のつこ、のつことやって来た 155

予知 166

津波との戦い 171

参考文献 179

あとがき－文庫化にあたって 180

再び文庫化にあたって 183

解説 記録する力 高山文彦 185

一 明治二十九(1896)年の津波

被害 28

明治 29 年 6 月 15 日午後 7 時 32 分 30 秒に弱震を記録、同 53 分 30 秒にも弱震をとらえた。8 時 2 分 35 秒にはまた大地がゆったりと揺れた。弱震があつてから 20 分ほど経過した頃、すさまじい轟音が三陸海岸一帯を押し、波の壁は、すさまじい轟とともに一齐にくずれて村落におそいかかった。岩手県下の死者は実に 22565 名に及んだ。岩手県南部の気仙郡では、死者 6748 名で 21 パーセントが死亡。吉浜村では人口 1075 名中、982 名が犠牲になり、壊滅状態に近い。上閉伊郡の被害は、人口 16259 名中死者 6969 名を算し、釜石町は、人口 6557 名中、5000 名が死体となった。下閉伊郡の被害も惨憺たるもので、人口 35482 名中、7554 名が死亡、船越村、山田町、津軽石村、田老町、普代村は、住民の半ば近くが津波にのまれた。北部にある九戸郡でも、1294 名の死者を出している。海岸に住む者はほとんどが、津波で死亡または負傷した。村落には津波のはこんで来た大小無数の岩石が累々として横たわり、海岸線に軒をならべていた家々は跡形もなく消えていた。（明治 29 年の津波による死者数：26360 名）

二 昭和八(1933)年の津波

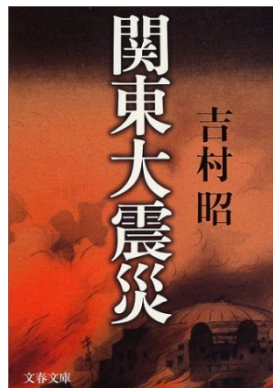
田老と津波 95

明治 29 年の大津波襲来では、海岸にある田老、乙部は 23 メートル余の高さを持つ津波に襲われて一戸残らず流失し、1859 名が死亡した。そのような打撃を受けた田老村は、またも津波の脅威によって叩きつぶされた。昭和 8 年 3 月 3 日午前 2 時 30 分頃、住民は、激しい地鳴りをともなった地震で目を覚ました。津波襲来前の前兆の気配はない。人々はもう一眠りしようとしてふとんにもぐりこんだ。突然沖合から汽船の警笛が余韻をひいて伝わってきた。「津波だ!」という言葉が近隣にひろがっていた。津波は、岸に近づくとつれて高々とせり上がり、村落におそいかかった。やがて海水が逆流のように急激な勢いで干きはじめたが、沖合にはすでに第二波が頭をもたげ進みだしていた。この第二波が最大で、倒壊した家と多くの人々は沖合にさらわれた。田老は、一瞬の間に荒野と化し、海上は死骸と家屋の残骸の充満する泥海となっていた。田老、乙部は、村落すべてが流失、死者は 911 名に達した。

（昭和 8 年の津波による死者数：1384 名）

●吉村昭「関東大震災」 文春文庫

大正 12(1923)年 9 月 1 日、午前 11 時 58 分、大激震が関東地方を襲った。建物の倒壊、直後に発生した大火災は東京・横浜を包囲し、夥しい死者を出した。さらに、未曾有の天災は人心の混乱を呼び、様々な流言が飛び交って深刻な社会事件を誘発していく。私の両親は、東京で関東大震災に遭い、幼時から両親の体験談になじんだ。殊に私は、両親の口からもれる人心の混乱に戦慄した。そうした災害時の人間に対する恐怖感が、私に筆を執らせた最大の動機である。この作品は、文献を参考にするとともに体験者からの話をまとめて書き上げたものである。(『関東大震災』P346 あとがきより)



目次

「大地震は六十年ごとになる」

- 一 群発地震 10
- 二 今村説 VS 大森説 24

地震発生——二十万の死者

- 三 大正十二年九月一日 42
- 四 激震地の災害 51
- 五 東京の家屋倒壊 59
- 六 本所被服廠跡・三万八千名の死者 77
- 七 浅草区吉原公園・娼婦たちの死 109
- 八 避難場所・上野公園 125

第二の悲劇——人心の錯乱

- 九 “大津波”“富士山爆発”流言の拡大 140
- 十 朝鮮人來襲説 156
- 十一 自警団 164
- 十二 列車輸送 206
- 十三 新聞報道 230
- 十四 大杉栄事件 241
- 十五 大杉事件と軍法会議 257

復興へ

- 十六 死体処理 280
- 十七 バラック街 300
- 十八 犯罪の多発 310
- 十九 大森教授の死 329

あとがき 346

地震発生——二十万の死者

四 激震地の災害 51

震源地の相模湾に沿った最大激震地の災害は、すさまじかった。小田原では、崖は一斉に崩れ、橋は落ち、家屋はつぎつぎと倒され多数の死者を出した。箱根でも 866 戸の家屋が倒壊し旅館が崖から溪谷に墜落した。横須賀の被害もひどく、丘陵の地すべりが発生し、鉄道のトンネルが崩壊して列車 3 輛を埋め、2301 戸の家屋が倒壊した。神奈川県下の家屋倒壊数は全壊 46719 戸、半壊 52859 戸、計 99578 戸にのぼり、全家屋数 274300 戸の 36 パーセント強にもあたる。横浜市の家屋倒壊戸数は、全壊 9800、半壊 10732、計 20532 戸に達し、全 98900 戸の 20 パーセント強に及んでいる。特に洋館は石造りまたは煉瓦造りなので耐震性はなく、最初の強震でひとたまりもなく崩壊してしまい、大半が圧死した。激しい地震は、大地に深い亀裂をはしらせ、山崩れを誘い、河岸を崩壊させ、鉄橋を河中に墜落させた。鉄道線路を徹底的に破壊し進行中の列車は脱線、転覆した。根布川で地震に遭遇した第 109 列車は、40 メートル下の海岸に、断崖を転々ところがり落下していった。

五 東京の家屋倒壊 59

東京府の震度は幾分弱かったが、それでも全壊家屋 16684 戸、半壊 20122 戸とその災害は戦慄すべき数字をしめした。堅牢と思われていた大建築物も倒壊または大破したものが多く、つぎつぎに倒れた。市内各所に地割れが生じ、橋梁は落ち電柱は倒れ水道管は破裂して、隆起・沈下によって大地は激しく波打った。倒壊した家では、圧死からのがれるだけが精一杯で、竈や七輪におこっていた火の上に材木や家財がのしかかり、たちまち火災が起った。最大の発火原因になったのは、学校等で棚から落下して発火した薬品だった。火災は東京市内十五区すべてに起り、強風にあおられて巨大な火のながれとなって延焼し、町をなめつくしていった。水道はいたるところで破壊され、浄水場の電力も絶えて水路は完全に断絶してしまった。そのため、河川、濠、下水などに水を求め放水したが、効果は薄かった。東京市の全焼戸数は、全戸数 483000 戸中の 300924 戸に及んだ。239 が半焼し、死者・行方不明者（圧死・溺死をふくむ）68660 名、重軽傷者 26268 名に達した。

六 本所被服廠跡・三万八千名の死者 77

東京市で最も悲惨な光景を呈したのは、本所区にあった被服廠跡であった。20430 坪余の広大な敷地は三角状で、付近の人々は絶好の避難地と考え、地元の相生警察署員も同地に避難民を誘導した。避難者の数は時を追うにしたがって激増し、やがて敷地内は人と家財で身動きできぬほどだった。町々が徐々に焼きはらわれて、被服廠跡にも火が迫った。そして、火の粉が一斉に空き地に降りかかり始めると、一瞬、家財や荷物が激しく燃えだした。たちまち空き地は、大混乱におちいった。人々は、炎を避けようと走るが、ひしめき合う人の体にぶつかり合い、倒れた者の上に多くの人がのしかかる。炎は、地を這うように走り、人々は衣服を焼かれ倒れた。そのうちに烈風が起り、それは大旋風と化し、初めのうちは、トタンや布団が舞い上がっていたが、またたく間に家財や人も巻き上げられはじめた。陸軍被服廠跡で焼死または窒息死した者は約 38000 人といわれ、関東大震災による全東京市の死者の 55 パーセント強に達する。

七 浅草区吉原公園・娼婦たちの死 109

被服廠跡以上に死者が一カ所に山積されたのは、浅草区吉原公園であった。地震発生と同時に、廓内では倒壊する家が続出し、圧死するものが多かった。そのうちに火災が起り、またたくまにひろがった。火に追われた娼婦たちは、自然に吉原公園に押しかけた。やがて火が急速に迫って、公園内に持ち込まれた家財に火がつき、娼婦たちは熱さに堪えきれず園内の弁天池に飛びこみはじめた。死の苦痛からのがれようと、娼婦たちは必死に争った。溺死した者の上に死者が重なり、池は人の体でうずまった。水は、すでに湯のようになっていた。吉原公園の死者は490名で、ほとんどが、新吉原の娼婦だった。東京市内にあった橋は総数675で、火災によって340の橋が被害を受けた。橋が焼けたことによって、避難者は逃げ場を失い死者の数を激増させる結果になった。東京市の川は、死体におおわれた。殊に、隅田川には、火に追われ川に飛び込んだ者たちの溺死体が無数に浮遊していた。

第二の悲劇——人心の錯乱

十一 自警団 164

大地震の起った日の夜七時頃、横浜市本牧町附近で、「朝鮮人放火す」という声がいずこからともなく起った。しかし、その流言も翌2日の夜明け頃から急激に無気味なものに変形していった。「朝鮮人強姦す」という内容のものとなり、さらには殺人をおかし、井戸その他の飲水に劇薬を投じているという流言にまで発展した。流言は、人々を恐れさせ、その恐怖が一層流言の拡大を促した。具体的な内容をもっていただけに短時間に横浜から市の郊外にまで広まった。大災害によって人々の大半が精神異常をきたしていた結果、その異常心理から、各町村で朝鮮人来襲にそなえる自警団という組織が自然発生的に生まれたのだ。武装したかれらは、手当たり次第に通行人を呼びとめては訊問する。凶器を手にした自警団は、完全な暴徒集団に化していた。横浜市内から湧いた根拠のない流言は、一般民衆の間で巨大な流言と化し、さらに軍と官憲によって事実と断定され、しかも全国に伝えられていったのである。

十三 新聞報道 230

朝鮮人襲来の流言がすさまじい勢いでひろがるに伴って、新聞も一斉に報道しはじめた。内務省は流言の調査に全力を傾け、それが事実無根の風説と気づいたので、社会不安をうながす記事を掲載した新聞・雑誌等の出版物の取り締まりの強化をはかって、原稿を洩れなく検閲する命令が発せられた。また、各地方長官に内務大臣の権限の一部を代行させ、治安維持令とその他通達にふれる新聞・雑誌等の差し押さえを命じた。厳しい処置によって、流言が事実であるかのような記事は消え、人心安定の上に効果があり、自警団員らの狂暴な行為も鎮まって、世情もようやく平穏をとりもどした。

復興へ

十六 死体処理 280

9月2日に早くも死体の処理に着手した。死体を一定の地に集め、薪を積み石油をかけて露天焼却をおこなった。しかし、死体数がきわめて多いため作業ははかどらなかった。死体の群は腐臭を放ちはじめ、蛆がうごめき、蠅の乱舞に包まれていた。大震災によって職を失った人々には得がたい高収入であったが、作業員はなかなか集まらず、集まった作業員も、遺体に触れると、肉が崩れ、髪も抜ける、あまりの惨状に作業を放棄する者が相ついだ。短時間で焼骨する能力をもつ重油火葬に決定してからは、わずか3日間で遺体はすべて焼骨された。溺死体の収容は困難であった。焼け落ちた橋や漂流物で航行できぬ状態だったため、河川の障害物を取り除き、死体を鳶口で引揚げた。遺体は腐爛し激しい臭気を放ち、卒倒する者もあったが、14日には溺死者の処分を終えた。圧死者は、9月中旬になっても瓦礫の下で圧死したまま発見されない者が多かった。各警察所で圧死者の発見につとめ、20日までに遺体を収容し、これによって死体の処理は漸く終了した。

十八 犯罪の多発 310

多くの人々は職を失い生活の資を得る手段を失った。商品は大量に焼失し、交通機関の壊滅によって物資の移入も乏しかった。また水道管が破壊したため飲料水を得ることも出来ず、人々は生活を維持する方法を絶たれた。窮迫の中で、盗みがおこなわれ、大規模な掠奪もおこなわれた。掠奪は食料からはじまったが、他の物資にも及んでいった。電灯が全滅し東京や横浜は暗黒の世界に化して、盗みを働くのには好都合であった。銀行や商店から高価なものをかすめとったり掘り出す者が多かった。横浜では悪質な集団強盗が横行した。警察の無力化に乗じて、憲兵、警察官、郵便局員を装った悪質な詐欺、恐喝事件も発生した。物資の不足による物価の高騰で、物価は5割以上高くなり、中には2倍、3倍の高値を呼ぶものも多くなった。警視庁では、暴利の根源が豊かな資力をもつ卸売商にあることを知り、暴利をむさぼる卸売商を取締まり検挙した。これらの取締まりでようやく物価の安定をみた。

●小山鉄郎「大変を生きる—日本の災害と文学」 作品社

平成 23 年 3 月 11 日、東日本大震災が起き、自分は文学担当の専門記者として、どんなことができるのか…どのようなことをしていくべきか…そんなことを考えていた。日本人は自然災害からどのようにして立ち直り、復興してきたか、それを、災害を描いた文学作品を通して書いてみたいと思い、新聞連載を始めた。文学作品で自然災害が描かれた場面を読んでいくと、その文章の見事な描写力によって、災害のことが深く心に残る。もし読者が災害に遭遇した時に、印象深い文章の記憶が、その人の生死を分けるかもしれない。そして何よりも、子供たちの力、子供たちを通しての人間の本来の力を考えていくことの大切さについて、痛切に感じた。この連綿と続く、命の繋がりというものを決して切断させてはいけないと思う。そして、人間は自然の一部であり、自然とともにあるということ、この本を書いて強く感じた。（『大変を生きる—日本の災害と文学』あとがきより）



目次

50メートルの津波 吉村昭 7	
村民を救った「生神様」 小泉八雲 18	
投込寺の永井荷風「震災」碑 31	
宮沢賢治の内心の祈り「雨ニモマケズ」 43	
巨大地震を阻止した、かえるくんの「はく」と「非はく」村上春樹 57	
谷崎潤一郎『細雪』と阪神大水害、その報道管制 75	
芸術は無用の贅沢品か、人生の底へ深い根を張っているか—菊池寛と芥川龍之介 93	
外国で知った関東大震災 斎藤茂吉 109	
田山花袋の『東京震災記』『百夜』 116	
島崎藤村と関東大震災 126	

鴨長明『方丈記』と堀田善衛『方丈記私記』 139	
富士山、宝永大噴火—新井白石、新田次郎 150	
天明三年浅間大噴火—立松和平、根岸鎮衛 173	
青ヶ島のモーゼ—柳田國男、高田宏 189	
善光寺地震と地震くどき節 204	
戦争に消された五つの大地震—多田裕計、高田宏 214	
安政地震と「銘絵」—出久根達郎、仮名垣魯文 232	
島原大変、肥後迷惑—吉村昭、白石一郎 243	
幸田文の防災小説『きもの』 256	
井伏鱒二『萩窪風土記』と関東大震災、そして『黒い雨』 270	
大正十二年生まれの池波正太郎と司馬遼太郎 286	
『ドグラ・マグラ』と関東大震災—夢野久作 299	
良寛と三條大地震—吉本隆明 315	
津波に追いかけられた芥川賞作家—新井満 332	
西村伊作と濃尾地震 345	
風土に合った耐震建築の追求—寺田寅彦 386	
対立する地震学者の運命を分けた関東大震災—57 吉村昭、寺田寅彦 396	
あとがき 421	

谷崎潤一郎『細雪』と阪神大水害、その報道管制 75

「雨の音で話し声も聞こえないほどの時間雨量 5~20 ミリ」（5 日 10 時台 47.3 ミリ）の降雨が続いた。「それが十二時間後に、阪神間にあの記録的な悲惨事を齎した大水害を起そうとは誰にも考え及ばなかった」豪雨による阪神大水害の山津波を描いた有名な場面が、谷崎潤一郎の『細雪』にある。昭和 13 年 7 月 3~5 日の豪雨で発生、死者行方不明者は 700 人以上にのぼったという大災害だ。神戸市の年間総降水量の約 3 分の 1 に相当する降雨で、甲山から流出した土砂量は、500 万~800 万立方メートル、トラック 100 万~150 万台分に相当する量である。戦争中であつた当時、阪神間には軍事工場が多く、大きな被害を受けている状況が敵に悪用されないよう、報道管制され広く一般には知らされなかった。

富士山、宝永大噴火——新井白石、新田次郎 150

宝永 4(1707)年 11 月 23 日午前 10 時から 11 時頃に始まった富士山の大噴火は 1 km 立方もの火山弾や砂や灰をまき散らした。小田原藩は、11 万 3 千石中の約半分に相当する土地が被災した。耕作不可能となり途方に暮れる農民に対し、被災地を支配する小田原藩は「田畑は自力で開発せよという命令」を出す。復興のめどが立たず、小田原藩にも幕府にも見捨てられた農民たちに「飢餓は怒濤のように押しよせてきた」。その被害地の救済復興策の全責任を負って赴任したのが関東郡代の伊奈半左衛門忠順だ。被災農民たちを救うべく奮闘する伊奈忠順の姿を描いた小説が新田次郎の『怒る富士』である。新井白石に会った伊奈忠順は言う。「被災地の農民を救うには、彼等に食を与えながら、自力開発させる以外に道はないと思います」。「幕府の援助が一人一日米一合というような微力なものであるならば…ほどこしに過ぎません。まだ見捨てられていないと思うから自力開発の力が出るのです」と話している。

天明三年浅間大噴火——立松和平、根岸鎮衛 173

「飛ぶようにして駆けた。草履も脱ぎ捨て、駆けに駆けた」。天明 3(1783)年 7 月 8 日の浅間山大噴火を描いた立松和平『浅間』に主人公ゆいが山津波から必死に逃げる場面がある。浅間山大噴火で、鎌原村は約 6 メートルの火砕流に村全体が埋まり、家は全滅、村民の 597 人中 466 人が死亡。生存者のうち、村に残ったのは 93 人だった。生存者に対する話で、立松和平『浅間』に、近隣の三村の有力者が、生存者を引取り、埋没した村の跡地に小屋を二棟たててあげ、麦・粟・稗などを送って、村民を助けた話が描かれている。さらに少ない生存者が家柄にこだわっていたら、村の復興は不可能と判断し、家柄身分を排除して、新しい家族を作することを提案し、夫を失った妻、妻を失った夫、親を失った子供や年寄りたちを、めあわせ、加えて、新しい家族を作って、被災後の鎌原村は再出発している。

戦争に消された五つの大地震——多田裕計、高田宏 214

終戦前後の5年はもちろん日本社会にとって、大変な時代だったが、実は昭和18(1943)年から同23年までは、千人を超す死者・行方不明者が出る地震が相次ぐ、日本列島の大地の激動期でもあった。だが、戦争中は国家による報道管制によって、また戦後は敗戦による社会混乱によって、日本人はそのような大地の激動期があったことを広く、共有する形で記憶していないように思われる。具体的には次の五つの大地震が、この5年間に起っている。昭和18年9月10日、鳥取地震(M7.2)死者1803人。昭和19(1944)年12月7日、東南海地震(M7.9)死者・行方不明者1223人。昭和20(1945)年1月3日、三河地震(M6.8)死者2306人。昭和21(1946)年12月21日、南海地震(M8.0)死者1330人。昭和23(1948)年6月28日、福井地震(M7.1)死者3769人。吉村昭の『零式戦闘機』によると、昭和19年の東南海地震で、名古屋市の三菱重工業名古屋航空機製作所の工場は甚大な被害をおった。煉瓦造りの工場に働いていた人たちは「突然の激震に外へ出るいとまもなく、煉瓦の壁に競い合うように身を寄せたが…。身を守ってくれると思えた煉瓦の壁が…轟音を上げて崩壊し、その下に多くの者たちが押しつぶされてしまった」という。伊藤和明の『日本地震災害』によると、半田市にあった中島飛行機半田製作所山片工場もたちまち倒壊、多くの人命が失われた。ただちに軍事上の機密として敵国に情報が漏れないように報道規制が布かれた。そのように報道規制されていたが、M8クラスの巨大地震は地震波が地球を回るので、世界各地の地震観測網が東南海地震をとらえていた。被災地以外の日本の国民だけが真実を知らなかったのだ。

津波に追いかけられた芥川賞作家——新井満 332

新潟地震の発生は昭和39年6月10日午後1時1分40秒。震源は新潟県北部西方沖、深さは40メートルの海底だった。新潟市に津波の第一波が襲来したのは発生から19分後である。最高波高2.3メートルという第三波が午後2時25分に襲来している。新井満のエッセイ「地震と津波の高校三年生」に、新潟地震の恐怖体験が記されている。「高校のグラウンドの地面に稲妻形の亀裂が蛇のように走り、それと交差する形で別な蛇が走り、また別な無数の蛇が地面に浮き出ているのだ。縦に走る蛇の中から真黒な色をした地下水が噴き出してきた。土地の液状化現象だ」「最新鋭の建築工法によって超スピードで完成したばかりの昭和大橋は、地震によって落橋。橋桁中央部は完全に水没し、残る橋桁も片側ばかりを次々に水没させ、さながらドミノ倒しの様相を呈した」「津波だ!」「津波が来るぞ!逃げろ!」恐ろしい形相の大人が叫びながら走ってくる。やがて地鳴りと、轟音が近づいてきた。信濃川岸の土手の上にいた僕と友人は土手を駆け下りる。走りながら振り返ると、20メートル後方に水の壁が迫っていた。新潟市内の通信網は地震で寸断され、新潟地方気象台からは関係官庁へ徒歩による連絡員が派遣され、津波警報の発令が伝えられたという。「新潟市の低地帯では、津波と地下水により約5000haもの地域が泥海と化した」。津波は、信濃川をぐんぐんさかのぼり、遠く14キロの上流までに及んだという。

西村伊作と濃尾地震 345

明治24年10月28日朝、午前6時38分に起きた濃尾地震(M8.0)は、日本の内陸部で起きた近代以降最大の直下型地震で、その震源は浅く、震動は現在の震度階数でいえば、激震(震度7)だった。濃尾地震に伴って生じた地震断層は、延長距離80キロにも及ぶ世界的にも大規模なものであり、震源地である根尾水鳥地区では上下に6メートル、長さ1キロにもなる断層崖が隆起した。濃尾地震では、全国で14万戸を超える建物が崩壊し、7273人ものが亡くなったが、この中に「文化学院」創立者の西村伊作の両親も含まれていた。伊作が父母と名古屋のチャペルで朝の祈祷中に濃尾地震が発生。避難中、落下してきたチャペルの煉瓦が父母を直撃して即死してしまった。西村伊作の『我に益あり』によると伊作も「頭から血が流れて、目を開けようとしても開けられなく」なるほどの大けがを負った。「私は自分の子供のための学校を作ったらいいと思った」大正10年4月23日に、校長・西村伊作、学監・与謝野晶子・石井柏亭、主任・河崎なつで、「文化学院」を開校。その西村伊作をもう一度、関東大震災が襲う。新宮に留まっていた西村伊作は、上京した家族を探しに東京に行く。文化学院に着いたが、7月に完成したばかりの新校舎は、一度も使われないまま焼失していた。焼け残った学校の門に家族の避難先が書いてあるのを見つけ、興奮した面持ちで与謝野家の玄関に立った。「すると私の家族が『わぁーお父さんが帰って来た』といってぞろぞろ出てきた」と『我に益あり』の中で書いている。

♡♡合わせて読みたい本♡♡ ~Ghosts of the Tsunami~

●『津波の霊たち 3・11 死と生の物語』リチャード ロイド パリー/早川書房

2011年3月11日東日本大震災で、学校の管理下にあった児童生徒の犠牲者75人の内74人が宮城県石巻市立大川小学校の生徒である。この悲劇がなぜ起ったのかを、在日20年の英国人ジャーナリストが親密な取材と深い洞察力で迫るルポルタージュ。



『世界のともだち ブータン』 21

“リクソルと伝統の暮らし”

写真・文 齋藤亮一/偕成社



ブータンは日本の九州とほぼ同じ大きさです。首都のティンブーから西へ車で1時間ほどの町パロに、8才のリクソルはくらしています。リクソルはおじいさん、おばあさん、お父さん、お母さん、お姉さんの6人家族。リクソルの家は、ブータンの伝統的なたてもので、お母さんの方のひいおばあさんのおばあさんが200年ぐらい前にたて、おじいさんが今の生活にあうように改装しました。家は4階建てで、1階は牛小屋、2階と4階は倉庫で、3階が家族の住まいです。3階のいちばん奥には仏間があり、仏画が描かれた広々とした部屋には仏様がまつられ、家族はいつもここで毎日の幸福に対する感謝をし、人類みんなの平和を仏様にお祈りしています。中学生のお姉さんは首都ティンブーにあるおばあさんの家から学校に通っていて、週末だけパロの家に帰ってきます。近所には親せきやいとこも住んでいて、大きな家にはいつもたくさんの人が出入りして、とてもにぎやかです。お父さんの仕事は農業機械のつかいかたを教えること。お母さんは農作物の品種改良を研究している会社ではたらいています。ほかに、家で飼っている牛の世話、田んぼと畑の

仕事もあって大忙し。リクソルはいいそがしいお母さんのお手伝いもよくする、一家のたのもし娘です。じつはなかなかのおてんばですが、学校の成績はいつもクラスで3番以内に入る勉強家。英語が大好きで、将来は英語の先生になりたいと思っています。今のお気に入りにはパソコン。でも、いちばん好きなことは、近所の自然の中をかけまわること。リクソルは朝7時にお母さんに起されます。お父さんとお母さんは、家の仕事と朝食をもうすませているので、ひとりで朝ごはんです。そのあと、制服である民族衣装のキラに着がえて学校へ行く準備。リクソルは町の高台にある私立の小学校に通っています。公立の学校は無料ですが、お金をかけて私立の学校に通う子どもも多いそうです。ブータンには義務教育制度がなく、家庭の事情で学校にかよえない子どももいるようです。授業はほとんどが英語で行われます。公用語であるゾンカ語で書かれた本はとても少なく、将来、より高いレベルの勉強をするときに、どうしても英語の本を読む必要があるからです。リクソルたちは英語がベラベラで、文字を書くのは、ゾンカ語より英語のほうが得意なほどです。リクソルの暮らすパロは、ブータンでただひとつの国際空港があり、町をみおろす丘にパロ・ゾンというお城があります。ここは、役所や寺院として使われていて、たくさんのお坊さんがここで生活をしています。町のいたるところではお経が印刷してあるルタンという小さな旗がゆれています。風によってみんなに幸せがとどきますように、という意味があるそうです。国民総幸福量（GNH）を大切にしている国ブータンで暮らす、ちょっとおてんばでしっかり者のリクソルの暮らしが描かれています。（要約：K.M.）

『世界のともだち 中国』 22

“ニーハオ！わたしはチューチン”

写真・文 片野田斉/偕成社



中国で2番目に長い川、黄河の南にある河南省鄭州。ここで、小学校5年生のチューチンはくらしています。チューチンは3人家族。お母さんは芸術家であるお父さんの作品を管理し、展覧会を手伝う仕事をしています。お父さんはふだん、山の中にあるアトリエにこもり、作品づくりをしています。書道から始めたお父さんの作品には、ヒョウなどの動物が、筆でダイナミックにえがかれています。チューチンはおしゃべりが大好きな女の子。人口が多い中国では、基本的に各家庭に子どもはひとりとする「一人っ子政策」をとっています。そのため、チューチンも一人っ子。いつも両親や親せき、お父さんのお弟子さんなど大人にかこまれています。変な顔をして人を笑わせたり、手品を披露したり、遊びを作りだすことが得意です。チューチンの家では、人が大勢集まると、みんなでおしゃべりをしながら食べきれないほどの餃子を作ります。できあがった餃子は全部ゆでて水餃子に。残った分は、つぎの食事の時に焼き餃子にするのが定番です。中国では夏の暑い日でも、冷たいものを飲むのはよくないといって、温かいお茶を飲みます。中国の人たちは、食べる

ものに気がつかない、おいしいものを楽しむことが大好きです。チューチンの学校は、1学年6クラスあり、全校生徒およそ2500人。チューチンのクラスは61人学級です。中国は人口が多いので、60人以上のクラスはふつうなのです。授業は午前中が4時間、午後が2時間です。お昼はそれぞれ自分の家へ帰って食べ、2時半までに教室に戻ります。苦手な科目はとくにないチューチンですが、どれがきらいかと聞かれれば「全部の科目がきらい」と。遊ぶのがいちばん好きなのです。個性ゆたかなクラスメートはみんな仲良しで、クラスは明るい雰囲気です。チューチンは、学校で十分に学んでほしいという両親の考えから、塾や習いごとには通っていません。放課後は、毎日たくさん宿題をこなしてすごしています。文化や芸術に関する知識も深めてほしいと願うお母さんは、休みの日に博物館や図書館へ連れて行きます。お母さんの実家です。チューチンはお父さんとはなれて生活していますが、週末になるとお母さんと車で1時間半ほどいったところにある、お父さんのアトリエへ行きます。アトリエがある場所は自然が多い場所。山を歩いたり、絵をかくたり、家族といっしょに遊ぶ大切な時間です。チューチンの夢はいまのところ、第一が、世界をまわって料理の記事を書く記者になること。第二はアナウンサーになることです。「年をとったら、お父さんのような画家になるのもいいな」と思っているようです。お母さんは「好きなように生きてほしいけれど、できれば芸術など中国のよいものを外国に紹介する貿易の仕事についてほしい」と願っています。日本と身近な中国で、のびのびとくらすお友達の日常をぜひ覗いてみてください。（要約：K.M.）

□七人の子育て奮闘記③ ～三女・三男～**三女「大好きな鉄棒、雲梯を何度も何度も ～お姉ちゃんらしい一面と兄姉に立ち向かう姿～」**

成來（せいら）は、石王家5番目の子としてこの世に誕生しました。最後の出産と思い、記念に水中出産にチャレンジしました。水中出産は、痛みが緩和され安産だと聞いていたのですが、私の場合は身体に負担が大きく、とてもきつい出産となりました。成來が出てきたときは上の兄姉たちはプールを囲み、「頑張れえ～」「おめでとう～」などと応援してくれました。水中から上がった成來は、とても元気よく、大きな声で泣いていました。疲れながらも、この子はきっと強い子になるんだろうなと予想していました。上のお兄ちゃん、お姉ちゃんに囲まれすくすくと育ちました。

運動神経がすぐれているのか、1歳になるかならないかの頃、鉄棒につかまり、ぶらぶらとなかなか手を離さず、しっかりとつかまっていることに驚きました。上の子の真似をしていろいろと一緒にやりたがり、雲梯も支えられながらですが、ぶら下がり進むことができるようになりました。それを何度も何度もやりたいとせがみました。1歳過ぎた頃、すべり台にひとりで上り、怖がらずにすべって楽しんでいる姿も見られました。この子はチャレンジャーだなと感心しました。しかし、幼稚園入園当初は、その積極性は見られなくなり、人見知りもあったためか、運動会の遊戯は適当に手を振ってみたりというやる気を感じられないものでした。年中になり、園にも慣れたのか、積極性が開花。遊戯もひな祭り子供会での踊りも、とても上手に踊っていました。そしてスイミングも習い始め、とても楽しんでいる様子です。

一方、家では下にふたりも生まれたため、お姉ちゃんらしさも見られるようになり、優しく接する時もあれば、注意をしたり、しかる時もあります。逆に上の子たちには、立ち向かう姿も。兄たちに「見ないで！キモい！」などの言葉を口にするようになり、やっぱり女の子は強いなと思うこの頃です。年長さんから石川塾に通わせていただき、小学1年生になった今、読み書き計算を頑張っている日々です。勉強でわからなくなると「わからない」とシクシク泣き出す時もありますが、これからどう成長していくのか楽しみにしています。

●セイラさん(小1)のお母さんからの VOICE■**三男「よく飲み、よく食べ、よく遊び、良く寝る ～妹想いの優しいお兄ちゃん～」**

聖輝（せいぎ）は、成來と2つちがいこの世に誕生しました。6番目の子で、初めて陣痛前に破水を経験。この子は自分から、出てくるのかと思いながらの出産で一番楽でした。なんていい子なのと思いきや、悪夢の始まりでした。母乳を飲ませるときに、やっぱり男の子は強い。乳首は両方とも亀裂です。授乳のとき毎回涙でした。そんな感じで聖輝は、とてもたくさん飲むため母乳では足りなく、人工乳へ変更。想像以上に飲んでくれました。よく飲むおかげで、彼はとても元気に大きく育ちました。走りは速く、食べるのも速い。そして大食いで（小5のお姉ちゃんより食べます）よく寝ます。寝る子は育つとはこういうことですね。幼稚園から帰宅したら、おやつはお菓子ではなく、どんぶりご飯。生卵、みそ汁をかけて混ぜたものを作ってくれとせがみ、それを全部平らげます。その食欲に空いた口がしばらくふさがりませんでした。食べた後は少し遊んでから気づくと、ソファで爆睡。3時間くらいは動きません。途中一度起きるも、またすぐに入眠。夜寝ないかと思っていたら、普通に爆睡。父親以上に大きくなってくれそうと楽しみです。なので力も強く、飛びついてくると、その反動でよろけてしまいます。

幼稚園（年中）では、1つ下の妹（年少）のことが気になるのか、外遊びのときに先生に「成禾（せいか）ちゃんは？」と聞いたり、誰かが泣いていると、「成禾ちゃんが泣いているのかな」と妹のことを心配し、大好きようです。成禾が椅子の脚に洋服がはさまって取れない！と言うと、聖輝が黙って近寄り、その椅子を持ち上げ助けてあげる様子に「優しい」「かっこいいね」と感動するママです。また、お姉ちゃんと同じく年少から石川塾へ通っています。毎回騒いで自由奔放な聖輝で、波がありますが、集中すると与えられた課題を最後まで頑張ってやり通す場面も見られるようになりました。また、パズルが大好きで、はじめの頃は「これどこ」と助けを求めてきていましたが、最近は助けようとしたら、「聖輝がやる」と、ひとりでできるようになりました。成長を感じる瞬間でした。これからの聖輝の成長が楽しみです。

●セイギ君(年中)のお母さんからの VOICE■**□漢検3級・数検3級・英検3級 “三冠達成” ～みつつめ～****英検3級合格まで**

6月の中旬に漢検を受け、試験の合否がわかる前に英検の勉強を始めました。検定は10月でしたが、私は英語がとても苦手なので、3ヵ月以上前から始めることにしました。案の定、私は、一次の筆記だけでも31問中5問しか解けませんでした。しかも、大問4の1問で、5問分の点が稼げる文章を書く問題に全く手がつけられませんでした。

そこで私は、ストップウォッチを使い、50分以内に終わらせられるように、大問1の15問を1問1分で、大問2の5問を1問1分半、大問3の10問を15分で終わらせ、残りを大問4と見直しに時間を使えるように練習し始めました。次に、私はリスニングの問題に挑戦しました。筆記の時ほどの悪い点数は取りませんでしたが、合格ラインには全くとどいていませんでした。そこで私は、暇な時間は英検のリスニングの問題を聴くようにしました。他にも、間違えた問題の理解できなかった英単語や熟語に印をつけ、単語帳にまとめたりもしました。しかし、2ヵ月を切っても点数は伸びず、数検の勉強も入ってしまいました。そんなことに気を取られ、英検の申し込みをギリギリまでしませんでした。数検が終わり、後2週間のところで、合格点ギリギリでしたが暇さえあれば勉強をしていたので、一次はギリギリ合格しました。二次は一時の合格が分かる前から、一応塾の先生相手に試験ギリギリまでやっていたので、どこもミスなく、満点で合格できました。英検を経験してギリギリまで粘って良かったと思います。●ミクさん(当月中3)からの VOICE■

<<石川塾の遠足体験記>>

6/13 (日) ~御朱印帳をもって~鎌倉七福神巡り&七里ガ浜~ウォーキング~

9:00 JR北鎌倉駅 集合~浄智寺・布袋尊~(横須賀線)北鎌倉駅→鎌倉駅~鶴岡八幡宮・旗上弁財天~宝戒寺・毘沙門天~妙隆寺・寿老人~本覚寺・恵比寿~(昼食)お好み焼き津久井~(江ノ電)鎌倉駅→長谷駅~長谷寺・大黒様~御霊神社・福祿寿~(江ノ電)長谷駅→七里ガ浜駅~七里ガ浜~片瀬海岸~小田急線片瀬江ノ島駅解散 17:25

◆石川塾名物の遠足に初めて親子で参加しました。今回の遠足は次男が「サブリダー」として遠足のしおり(日程表)作りをミツキ先生と一緒に準備しました。受験勉強の隙間時間を使って google map で移動時間を調べ、word にまとめました。歴史が好きなので今回の遠足で訪問するお寺を一箇所ずつ調べてそれらが建立された理由を知ることができました。遠足当日、参加している皆さんから自分が作ったしおりを褒めていただきました。内心嬉しくてたまらないのに、お年頃なのでしょう…次男は「ほとんどママが作った。」と照れ隠し。

JR 北鎌倉駅を出発し、午前中は5か所、午後は2か所のお寺を参詣しました。暑い日でしたが、みんなと楽しくお話をしながら歩くとどんどん歩けます。暑さに弱い息子たちも弱音を吐くことはありませんでした。行く先々で待っている福の神を楽しみにしながら、自分よりも小さな子を気遣い歩く姿は頼もしく成長したことを感じる瞬間でした。

長男はおみくじで見事大吉を引き、遭えるとラッキーと聞いていた野生のエゾリスを見つけました。お楽しみのおやつタイムでは、みんなとおやつ交換をして疲れも一気に吹っ飛びました。どこからパワーが出るのか…砂浜を駆け回ってはしゃぎ過ぎ、サブリダーであることを忘れた次男は靴のまま海の中へ…。その靴のまま電車に乗るのか…と一瞬気が重くなり小言が出そうになりましたが、時間を気にせず遊ぶ姿にたまにはいいかと思い直しました。

私自身もママさんたちと色々な話が出来てリフレッシュできました。後日、長男は学校の作文に今回の遠足について書き、時々写真をみています。また、次男は学校の自主学習で改めて七福神について調べました。今もまだ遠足の余韻が残る我が家です! ●シンペイ君(小5)のお母さんからの VOICE■



◆晴天の6月13日、幼児から大人まで私たち二十余名は、9時半に北鎌倉駅を出発し、紫陽花咲く神社仏閣を巡ったあと、七里ガ浜から片瀬海岸までを歩きました。

(午前の部)鎌倉七福神巡り

小学五年生の塾生手作りの行程表を手に、まず紫陽花咲く浄智寺に到着。笑顔で出迎えてくれた布袋尊、幸いいですね。JRに乗り鎌倉駅に着いたら、マスクをした狒犬を横目に八幡宮内の旗上弁才天へ。蓮池のほとりで白鳩に豆をまく子ども達。暑さにまいってしまう子もいたが何とか持ち直し、北条家ゆかりの宝戒寺につくと本堂に上がり厳かに毘沙門天を拝顔。続く妙隆寺では静かに寿老人を見上げ、仁王の睨む本覚寺で三角屋根の恵比寿堂に上る頃には「先生、お好み焼きはまだですか?」との訴えあり。

(お昼)お好み焼き&クイズ&景品

津久井さんは大賑わい。予約を有難うございます。鉄板を囲み、大きなお好み焼きが目の前で焼かれる様に興奮の子供たち。さて油断召さるな。ここで石川先生からクイズです。

(問1)七福神はどこの国の神様でしょう? 日本、中国、印度に分けて下さい。

(問2)福神漬は何から出来ているでしょう?

二問とも当たった人には先生から鎌倉名物の景品が進呈されます。子ども達は更に興奮。中には福神漬を作ったことがある、というお母さまも! や、参りました。スマホ使って調べていいですか? ダメです。というわけで、二問とも正解した塾生には先生からご褒美を頂き、お腹も満足、皆で盛り上がった楽しいお昼でした。

(午後の部)長谷寺と御霊神社、七里ガ浜からの片瀬海岸

七福神巡りは残り二神のみ。江ノ電で長谷寺へつくと紫陽花の盛りで驚きの人出。お堂におわす黄金の観音様は今年で御年1300歳。ここですっと衆生を見守っています。有難いので記念に石にお経一文字を書きお供えしました。石川先生は昔、奈良の長谷寺方面へ行かれ写真を撮った話をして下さいました。笑顔の大黒様を参ってのち、いよいよ最後の御霊神社へ。ひっそりとした神社の宝蔵庫の中で、福祿寿はそっと微笑んでいました。七福神巡り完了、福德が皆さんに現れますように!

江ノ電に乗り七里ガ浜で下車、海へ出ました。最後の行程、海岸ウォーキングです。江ノ島を向こうに見ながら砂浜をとつとつと歩きます。不安定な足元もものともせず、打ち上げられた青き水母や鰻をつつき興味津々の子供たち。ふと大海原をじっと見た小学一年生が立ち止まり、小さい体からあらん限りの声で叫びました。「ああ〜〜! 楽しかった!!!」その瞬間、久々の長歩きで溜まった私の疲れは粉々になって海風に消えていきました。5時をすぎ、やっと竜宮城江ノ島駅へ到着した時、私には久方ぶりに何かをやり切った満足感がありました。大人でも長い道のりにも関わらず、それを懸命に歩く子供たちの姿に揺り動かされ、この一年半ずっと続く緊張感がふっとゆるんだ一日でした。最後になりますがここに企画、引率をして下さった先生方の優しさと温かいお心配りに心から感謝をお伝えします。有難うございました。

●コウタロウ君(小4)のお母さんからの VOICE■

<< “世界のともだち”ワークショップ >>

●6/19(土) “世界のともだち”ワークショップ♡メキシコ篇♡

塾生の岩田さんご家族の協力を得て、“世界のともだち”ワークショップ♡メキシコ篇を開催しました♡
11名の子ども達と5名のお母さんにご参加いただきました。歴史や食文化など日本との違いがよくわかり興味深かったです♡そしてお待ちかね・・・“ピニャータ”というお菓子の詰まったくす玉づくり♡みんな
で割って遊ぶ大玉2つ(星型と紫陽花)と、お家に持って帰るくす玉を各自1つ作りました♡皆で順番
に割っていきましたが中々頑丈で割れず・・・何巡も回ってきたのでみんな大興奮でした♡

◆千の声 VOICE の夏号向けに、親子で本棚づくりワークショップ参加の感想文を書きました。その中で息子が「コロナが収束したら、メキシコ料理やピニャータなどについてのワークショップができたらいいな」と書いたことから、光樹先生に今回の WS 開催のお声かけをいただき、実現する運びとなりました。

WS は息子からメキシコについての説明があった後、お土産用小型ピニャータを制作し、最後にみんなで大きめのピニャータの飾り付けをして、それを割るという三部構成でしたが、やはりみんなでピニャータを叩いた時が一番盛り上がりしました。あいにくのお天気のため教室内で割ることになり、用意していたプラスチックのバッドを使うことができませんでした。教室の電球が割れないように短くした紙製の棒ではなかなか割れず、だんだんみんな「本当に割れるの?」という気持ちをチラつかせながら叩いていたと思います。その分、ようやく割れた時には、歓声とともに我先にとお菓子を夢中でかき集めてくれました。日本でピニャータを叩くと、遠慮してしまう子もいるのですが、石川塾に集結した子供たちは最高のノリを見せてくれました。

メキシコで誕生日やクリスマスなど、子供のイベントには必ず登場するピニャータ。今回初めて、完成品を叩くだけでなく、作る作業をみんなで行いましたが、子供たちの個性が垣間見られて楽しかったです。作り方を広める一方、製作にかかる時間などのハードルを下げる如果能够できれば、もっと日本の皆さんにもピニャータを気軽に楽しんでもらえるようになるかもしれないと思いました。

最後になりましたが、ご参加いただいた皆様、開催のためにご尽力くださった石川先生、光樹先生、そして参加はできなくても興味を持ってくださった皆様、本当にありがとうございました。親子で貴重な経験をさせて頂くことができました。●ナオキ君(小6)のお母さんからの VOICE ■



●8/1(日) “世界のともだち”ワークショップ♡ベトナム篇♡

ベトナム出身の石王さんを講師にお迎えし、7組17名でベトナムの歩んだ歴史と食文化や大衆文化を学んだあと、**ベトナムのおこわ“ソイダウサイン”**の作り方を教わりました♡もち米、緑豆塩、水だけで炊き上げ…ココナッツと砂糖とごまで好みの味付けにするだけで…とっても美味しいおこわの出来上がり♡炊きあがるまでの時間、ベトナムで定番の遊び、**ベトナム式スゴロク**で遊びました♡日本のすごろくと違い簡単に前へは進めません…3か所に分かれて対戦し、どこも大変盛り上がりしていました♡

◆ベトナムを紹介させていただく機会に感謝しています。当日は皆さんの反応は、どうだろう、特に馬のレースゲームは少しややこしく、難しいところもあるので、つまらなくなるのではと、心配していましたが、意外にもハマって楽しんで頂きました。もち米の方も子供達も一緒に計測したりと参加してもらえてよかったです。又、知らなかったベトナム事情は詳しくはお伝えできなかったのですが、少しでもわかってもらえたのかな?それだけでもどこかで頭に残り、知識として活用していただけたらと思います。この機会をくださった石川塾の先生がたに感謝しています。どうもありがとうございました。

●七人兄弟姉妹(中2・中1・小5・小4・小1・年中・年少)のお母さんからの VOICE ■



<<サイエンスノートづくり講座>>

◆興味のあることを調べる♡ノートにまとめる♡分析力・思考力・考察力の基礎♡

●「カラー 生物・生命科学大図鑑 未知への探求」(マイケル・J. パティラ イオアニス ミアオーリス
マーサ シュール/西村書店)を読んで「ノートにまとめてみよう」「調べてみよう」



アメリカ発！中高生向けの『生物学』が1冊に！米国で広く使われている生物教科書。細菌から植物、動物、細胞と遺伝、人体、環境の5部からなり、この1冊で生物学に関するすべての知識を網羅。各項目はじめに示された「ポイント」と「キーワード」が理解のガイドとなり、さらに、その理解を項目末の「まとめ」の質問で確認することができる。観察や実験、記述を行うコーナーで想像力、自分で考える力、洞察力、先見性を育み楽しく学ぶことが出来る♡各部・章ごとにポイントや考えを“ノートにまとめてみよう”“調べてみよう”♡♡

◆私は、『生物・生命科学大図鑑』のおかげで、理科についての知識をふくらませることができた。スラムダンクなどのキャラクターを使って4コマ漫画のようにまとめたり、要点をクイズ方式で忘れないようにする、といった面白いまとめかたをしている。また、友達と話しながらできるので、意見を交換し考えを深めることができる。ノートづくりをすることで、別に取り組んでいる『反復プリント 理科』などの復習ができる。なので、やったことがない人は、ぜひやってみたい方が良いと思う。

●ナオキ君(小6)からの VOICE■

◆ぼくが『生物・生命科学大図鑑』を始めた理由は二つあります。一つ目は細胞やウイルスなどに興味があったからです。二つ目は漫画『はたらく細胞』を読んでいても出てくる細胞のことがよく分からなかったからです。『生物・生命科学大図鑑』はたくさん文字が書いてある本です。だから、ノートを工夫しています。ノートのとり方は、自分が重要なところだと思ふところに線を引いたり、『はたらく細胞』や『スラムダンク』のキャラクターをコピーして切って、分かりやすく言葉を書いたりいろいろな工夫をしています。

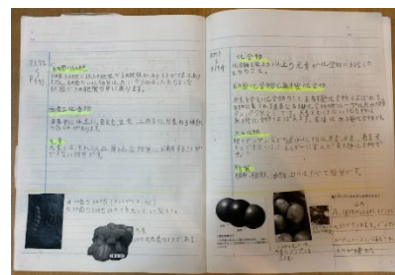
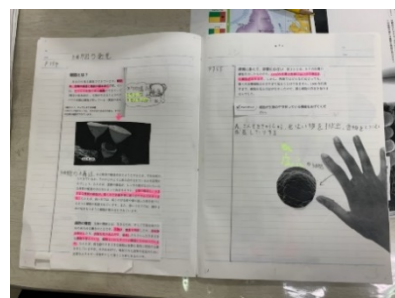
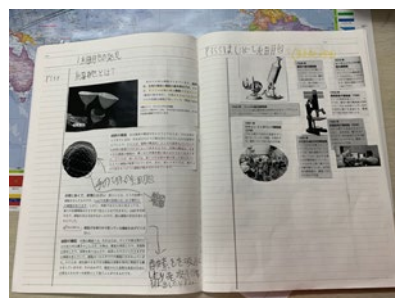
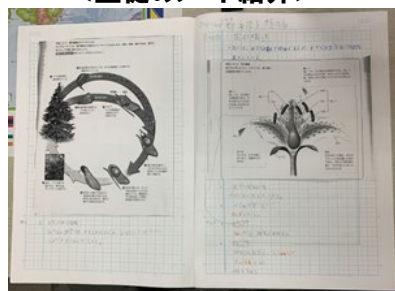
●シンペイ君(小5)からの VOICE■

◆僕が水曜5時からのサイエンスの授業に入った理由は、細胞が好きだからです。渡邊先生に誘われたとき、面白そうだったし、細胞に詳しくなりたいからです。これから授業で頑張って取り組んで、細胞に詳しくなるために頑張りたいです。●コウタロウ君(小4)からの VOICE■

◆『生物・生命科学大図鑑』っていう面白そうなノートづくりの講座が始まるみたいよ」と母にすすめられ、生物の生態などに興味があったので講座を受講してみることにしました。サピエンスと違って漫画でもないのに、積極的ではありませんでしたが、だんだん内容が面白く思えてきてやる気が出てきました。最初のノートはコピー用紙とイラストばかりでしたが、段々とノートづくりに自分なりのまとめ方を工夫できるようになって、ポイントなどを色で分かりやすくしたりしています。細胞の学習を始めてあまり知らなかったことをたくさん知ることができたので受講してよかったと思います。

●リホさん(小4)からの VOICE■

<生徒のノート紹介>



♡♡合わせて読みたい本♡♡

●『東大合格生のノートはかならず美しい』 太田あや /文藝春秋

東大合格者のノートは美しい。最後までテンションが落ちない。その“ノート術”を科目別、性格別に紹介、解説した全く新しい参考書。

①とにかく文頭はそろえる／②写す必要がなければコピー／③大胆に余白をとる／④インデックスを活用／⑤ノートは区切りが肝心／⑥オリジナルのフォーマットをもつ／⑦当然丁寧にかいている…7つの法則を伝授してくれる。

<<サピエンスノートづくり講座>>

◆興味のあることを調べる♡ノートにまとめる♡分析力・思考力・考察力の基礎♡

●「漫画サピエンス全史 人類の誕生編」(ユヴァル・ノア・ハラリ/ダヴィッド・ヴァンデルムーレン/ダニエル・カザナフ/河出書房新社)を読んで「ノートにまとめてみよう」「調べてみよう」



元になった「サピエンス全史 上下巻」には「認知革命」「農業革命」「科学革命」の意味の解釈があり、この漫画は3つの革命の中の「認知革命」の部分に絞ったものだ。動物にはたくさんの種があるのに対してヒトはホモ・サピエンスのみ。5万年前には6種類いたが徐々に絶滅した。アフリカの片隅でやっと生きていたホモ・サピエンスだけがなぜ繁栄したのか？ 歴史学だけでなく、人類学や考古学、さらにはサイエンスの観点からその歴史を“ノートにまとめてみよう”“調べてみよう”♡

<内容>●サバンナの反逆者●虚構の達人●性と嘘と洞窟壁画●大陸をまたにける連続殺人犯

副教材●「サピエンス全史 上・下」(ユヴァル・ノア・ハラリ/河出書房新社)

●「銃・病原菌・鉄 上・下」(ジャレド・ダイヤモンド/草思社文庫)

<生徒のノート紹介>

◆私は、サピエンス全史のおかげで、前から興味を持っていた、ホモ・サピエンスやネアンデルタール人などの不思議について知ることができた。マンガをまとめるのは難しい。しかし、絵があるので、内容が分かりやすく、逆に小説よりもまとめやすい。別に取り組んでいる『反復プリント 社会』の歴史とはまた一味違った歴史の勉強である。最初は小さくてか弱かったホモ・サピエンスが火などを手に入れながら進化していく様子は、まるでアドベンチャーゲームのようで面白い。●ナオキ君(小6)からの VOICE■

◆ぼくがサピエンス全史をやろうと思った理由は、いま全世界でホモサピエンスしかないのにほかの種類は、どこにいったのかが不思議だと思ったからです。そのことがよく分かるようにノートの書き方を工夫しています。どのように工夫しているかという自分でマンガを描いて分かりやすくしています。●シンペイ君(小5)からの VOICE■

◆マンガ講座の紹介が通信に載っていて、母が『漫画サピエンス全史』を読んでいたのので、私も読んでみたら面白く、講座を受けてみようと思ひ込みました。ノートづくりを始めてみると、漫画の内容が面白いので、より積極的に取り組めたと思います。始めたばかりの頃は、漫画をコピーして貼るだけでしたが、先生にアドバイスをもらいながらノートは成長していき、今では自分なりのノートづくりができるようになってきました。漫画サピエンス全史ノートづくりを始めたおかげで、自分たちの祖先がどのように生物最強になっていったのかを学べ、人間という生き物に興味が湧いてきました。

●リホさん(小4)からの VOICE■

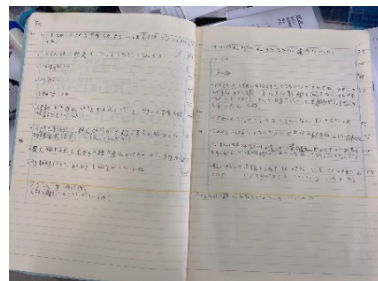
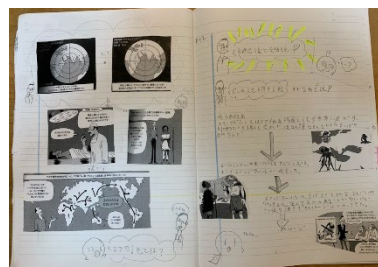
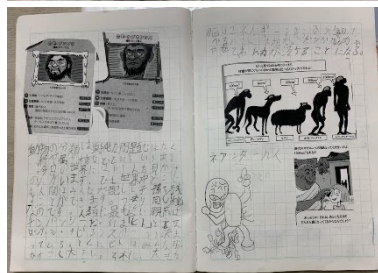
◆アツト君のサピエンス全史は、自分の気になった部分や新しく知ったことを本のコピーを使いながらノートにまとめています。サピエンス全史の本をじっくり読み進め、面白い話や、新しく知る知識があると「え～！そうなんだ！」と声をあげるほど楽しみながらノートにまとめているのが印象的です。年表を見て、現象の名前や起きた革命に色をつけ、何年前にどんな出来事があったのかをしっかりと理解することができていました。気に入ったページの本文をノートに書き写し、ノートのまとめ方も、色付けしたり挿絵を入れるとより良いノートになるのではないのでしょうか。●アツト君(小4)土曜少人数クラス指導カノン先生からの VOICE■



♡♡合わせて読みたい本♡♡

●『東大合格生のノートはどうして美しいのか』太田あや /文藝春秋

ベストセラー『東大合格生のノートはかならず美しい』が、まったく新しい発想で再登場！「東大生でもノートの汚い人はいる？」「こんなきれいなノートの人って上司になったらイヤじゃない？」といった読者からの疑問に著者がノートの現物で答えます。さらにノーベル賞受賞者や文豪の受験時代のノートなどを大公開！デキる人のノートはやはり美しい！



<<石川塾の肝心要 ～生きていくための要旨要約～>>

●厳選した図書で読解力・記述力を徹底的に鍛える●

●要旨要約上級講座(P16 参照)●

♡♡♡ 中学高校大学受験生必見♡♡♡

♡♡♡ 読解力・記述力はこの講座でぐんぐん伸びる♡♡♡

□小山鉄郎著・白川静監修 『白川静さんに学ぶ 漢字は楽しい』 新潮文庫

■[手]をめぐる漢字



漢字の体系成り立ちと漢字文化圏の社会のありようを理解するために、まず最初は「手」をめぐる漢字から始めましょう。「右」と「左」という漢字のそれぞれの古代文字を見てみると、「右」は「𠂇」、「左」は「𠂆」という字形をしています。そして「右」の「口」の分部は、実は「口」ではなくて、神への祝詞を入れる箱である「𠂇」(サイ)のことなのです。つまり「右」は右手で、この祝詞が入った器「𠂇」を持って祈る形の字です。それなら、「左」の「工」はなんでしょう。これは神を呼ぶ呪術のための道具なのです。この呪具「工」を左手で持っている形が「左」の字です。

巫の古代漢字には「𠂇」「𠂆」などの字形がありますが、「𠂇」は「工」を縦横に組み合わせた字形をしていて、これが「巫」の元の字形です。「𠂆」は左右の手で呪具である「工」を奉じる形をしています。

「塞」の古代漢字「𠂇」を見ると、たくさんの「工」が「𠂇」の下にあります。これは呪具である「工」を建物の内部に閉じ込める形の字で、それによって邪霊を封じ込めるという字形なのです。

「尋」という漢字の中に「工」と「口」という片仮名のような部分があって、漢字を習ったばかりのころ、不思議に思った人も多いかもしれません。さらに下の寸の分部も古代文字「𠂇」を見てもらえばわかるように「手」を示す字形です。つまり「尋」と左右の手を縦に重ねた字形となるのです。

「又」という字は右手の指を出した形で、古代文字を見れば、分かるように「右」の上の分部「𠂇」と同じ形をしています。そこで「友」という字を見てください。「反」はこの「右」の元の字「又」と「右」や「左」の字形にある「ナ」とを一緒にした字なのです。古代文字を見れば明らかですから手を二つ重ねた形をしています。「取」という漢字の傍の「又」を見ると、この字は左耳を左手で切り取る形をしています。

「最」「撮」も「取」に関係した字です。「最」は戦場で得た耳を袋に入れて集め持つ意味です。

●ナオキ君(小6)の要旨要約■

□齋藤孝『スラムダンクな友情論』 文藝春秋

■第二章 友情は、「アイデンティティ」を目覚めさせる ～桜木花道は、「アイデンティティ」の天才だ～

『スラムダンク』の桜木花道は、アイデンティティを「技」にしている。好きな人の期待する像に、自分を合わせているだけ、と言ってしまえばそれまでだが言葉に合わせて、実際の自分をスポーツマンにしていってしまふパワーは、ばかにできない。花道で言うなら、晴に合わせてとりあえず口走った「スポーツマン」じゃなくて「バスケットマン」が「アイデンティティ」になっていく。『スラムダンク』全巻が、花道がバスケットマンという「アイデンティティ」を獲得していくプロセスを描いていると言える。「アイデンティティ」は何か打ち込む、その「何か」をあらわす言葉でもある。「本当にそれ(花道ならバスケットマン)でいいのか？」というユサブリにも動じないハラのくくり方ができたときに、それは、「アイデンティティ」のめばえとなる。

●ナオキ君(小6)の要旨要約■

□『天皇皇后両陛下が受けた特別講義 講書始のご進講』(KADOKAWA)

■東野浩之 遣唐使に見る日本の対外交流 ～遣唐使の歴史～

まず始めに遣唐使の歴史について概略を申し上げますと、大陸との直接的な外交が、約150年ぶりに随との間で復活した後を受けて舒明天皇2年に第一回の遣唐使が派遣されました。このあと約30年の空白を置いて、以前とは違って良好な関係のもと、留学者の派遣や文物の輸入を通じて、唐文化が大きな影響を与えます。今日のように様々な文献検索の手段が整う前であり、大部な書物を目的なくめくってゆく根気強い作業が必要でした。その結果分かったことを三つ挙げさせていただきます。その第一は唐との外交関係が初期を除いて基本的に日本からの朝貢であったことです。さて、資料を尋ねて分かった第二の点は遣唐使の唐での行動です。次に従来埋もれていた第三の史料は、音楽関係の留学者に関わるものです。

●ナオキ君(小6)の要旨要約■

<<石川塾の肝心要 ～生きていくための要旨要約～>>

□渡部昇一『日本の歴史①古代篇～神話の時代から～』（全7巻）ワック

■第6章 平安朝の女性文化 ～藤原氏の節度～

藤原道長の後宮政策は、まことにめざましいものである。だから一時期は、長安、彰子が太皇太后、次女妍子は皇太后、三女威子が中宮になり、「一家立三后と呼ばれたほど、前代にも後代にも、おそらく世界中どこを探してもないであろう閨閥をつくり上げた。しかしこの時も道長が皇位に就こうという気はさらさらないのである。●ナオキ君(小6)の要旨要約■

□鈴木 ユウ 漫画『コウノドリ(1巻1話)受け入れ拒否』 講談社

妊娠しているにもかかわらず妊婦検診を受けていない妊婦のことを「未受診妊婦」「未管理妊婦」という。最近では「野良妊婦」とも呼ばれている。陣痛が来て救急車で緊急搬送されても主人公の妊婦は週数が分からないため5つの病院から受け入れ拒否をされてしまった。未受診妊婦が出産直前に病院に来ることを「飛び込み出産」という。未受診妊婦が飛びこみ出産をしに来るということは、胎児の状態や母体の感染症などの重要な情報や判断材料がないため病院にとって大きなリスクがある。受け入れる病院はあらゆる状況に対応できる準備をしなければならないため、多くの病院が未受診妊婦の受け入れを拒否し妊婦はたらい回しの状態となり母子共に危険にさらされる。その妊婦がウイルス性肝炎や AIDS などの感染症だった場合、医療スタッフにとってその妊婦はとても危険な患者となる。未受診妊婦は、お金がなく受診に行けず悩んでいるうちに、中絶できなくなってしまうケースが多い。妊娠や出産への知識がなく助産制度を知らずに誰にも相談できず未受診妊婦となり、出産時に受け入れ拒否となってしまうのだ。●カノン先生(高2)の要旨要約■

□記述力を身につける“二千字”要旨要約(齋藤孝「使える!『徒然草』」より)

■「徒然草 第八十五段」～真似ることの上達する～

小見出し:素直さがなければ学べない

本文要約:この段で、兼好はズバリ「賢い人の真似をすればいい」といっている。その前提として、一つ目の段落で、兼好はこういう。「人の心は素直や純粋でないから、ウソや偽善がないとは限らない。ただし、まれに心がまっすぐで正直な人がいないわけではない。自分が素直でなくても、他人の賢さを見て羨むのが世の常である。さらにもっと愚かな人は、たまに賢い人を見ると、憎しみを抱く。『大きな利益を得るために、小さな利益を受け取らず、表面を飾っていい評判を得ようとしているのだ』と、中傷する。自分の愚かな心と違うため、こんな嘲笑をするので、こういう人は、どうやっても賢くなれないし、ウソでも小さな利益を断れない賢人の真似ができない」たとえば、「あの人はいい」「あのやり方がいい」と思っても、人は自分のやり方にこだわっていて素直になれないので、なかなか真似して学ぶことができない。しかし、兼好は「たとえ本心でなくても、真似すればいい」というわけである。「偽りても賢を学ばんを、賢といふべし」とは、最初は見せかけだけ、振る舞いだけが賢人のようであっても、それを心がけていくことで、賢くなっていくというわけである。●シズクさん(中3)の要旨要約■

第百十段:偽りても賢を学ばんを、賢といふべし。

[意味]たとえ本心でなくても、賢人を真似しようと学べば、それは賢人といっている。

□記述力を身につける 20+200 字要旨要約文(齋藤孝『理想の国語教科書』青版/赤版/緑版より)

■坂本龍馬「姉、乙女への手紙」(齋藤孝『理想の国語教科書』第3巻緑版より)

一文要約:龍馬が姉へ日本を強くするために、どのようなことをしたかつたえる話。

本文抜粋:然二誠になげくべき事ハながとの国に軍初り、後月より六度の戦に日本甚利すくなく、あきればたる事ハ、其長州でたゝかいたる船を江戸でしふくいたし又長州でたゝかい申候。右の姦吏などハよほど勢もこれあり、大勢二て候へども、龍馬二三家の大名とやくそくをかたくし、同志をつのり、夫より江戸の同志と心を合わせ、右申所の姦吏を一事に軍いたし打殺、日本を今一度せんたくいたし申候事二いたすべくとの神願二て候。●ナオキ君(小6)の要旨要約■

■宮沢賢治「生徒諸君に寄せる」(齋藤孝『理想の国語教科書』第3巻緑版より)

一文要約:宮沢賢治が生徒に未来について強いメッセージを送った話。

本文抜粋:〔断章七〕新たな詩人よ嵐から雲から光から 新たな透明なエネルギーを得て 人と地球にとるべき形を暗示せよ 新たな時代のマルクスよ これらの盲目的衝動から動く世界を 素晴らしく美しい構成に変へよ 諸君はこの颯爽たる 諸君の未来圏から吹いてくる 透明な清潔な風を感じないのか
〔断章八〕(略) 誰が誰よりどうだとか 誰の仕事がどうしたとか そんなことを云ってゐるひまがあるのか さあわれわれは一つになって〔以下空白〕●ミオさん(中3)の要旨要約■

■宮沢賢治「告別」(齋藤孝『理想の国語教科書』第3巻緑版より)

一文要約:宮沢賢治が言葉に記して生徒の背中を押す話。

本文抜粋:よくきいてくれ ひとりのやさしい娘をおもふやうになるそのとき おまへに無数の影と光の像があらはれる おまへはそれを音にするのだ みんなが町でくらしたり 一日あそんであるときに おまへはひとりである石原の草を刈る そのさびしさでおまへは音をつくるのだ 多くの侮辱や窮乏の それらを囁んで歌ふのだ もしも楽器がなかったら いゝかおまへはおれの弟子なのだ しからのかぎり そらいつぱいの 光でできたパイプオルガンを弾くがよい ●ミオさん(中3)の要旨要約■

アンとアナのものがたい(成長日記)

☆アン(4年生): 英検3級合格♡サイエンスノートづくり講座♡漢字検定6級にチャレンジ♡

【毎週俳句を提出♡『ゼッタイこれだけ!名作4年生下』まで修了♡漢字検定6級の取り組み】



英検3級1次試験、2次試験合格♡やっとの思いで手にした合格♡ほんとうにほんとうに嬉しそうに合格証を眺めている。試験会場では、コロナ対策等のため2時間くらい待ちぼうけ…待ち時間が長すぎて、ぐったり疲れて帰ってきた。試験のほうは、行の電車で、面接練習の最終確認をしていたこともあって、「全部バッチリ答えられたよ!」と自信たっぷりだ。次は準2級にチャレンジだが、段々文法的な説明が理解できるようになってきたので、中学生のテキストを使って文法の復習をしてから、過去問に取り組んでいくことにした。石川塾で最近楽しみにしているのが、「俳句」「サピエンス講座」「サイエンス講座」である。仲間も増え、それぞれがまとめたノートを見せ合ったり、意見を交換したりしながら楽しくノートづくりをしている。最初は、コピーの切り貼りがおおかたが、徐々にポイントをまとめられるようになってきている。自分なりのスタイルもできたようで、色使いなどにも工夫しているようだ。俳句は塾で考えることもあれば、家で思いついたときに取り組むこともある。次の検定試験は漢字検定♡只今、過去問を3巡目で120点台。伸びしろいっぱいである。

《写真上: カラー 生物・生命科学大図鑑: 未知への探求 /マイケル・J. パディラ イオアニス ミアオーリス マーサ シュール (監修)、西山 徹 (監修) 写真下: 俳句歳時記 第五版 秋 /KADOKAWA》

☆アナ(1年生): 漢字検定10級合格♡朗読暗唱ステップ1修了♡漢字検定9級にチャレンジ♡

【公文国語・算数2年生開始♡『イッキによめる名作』1年生修了♡漢字検定9級の取り組み♡】



漢字検定10級に合格し、塾で表彰されると、恥ずかしそうにはにかんでいた。しかし、それが自信になったようで、次の漢字検定9級の勉強を自分からやりたいと言ってきた。2年生の漢字は数が多いうえに少し難しくなる。迷ったが、やりたいのならと取り組みはじめたら、難しい漢字でもしっかり確認しながら練習している。過去問は今3巡目になった。100点台を取れるようになり、あとは繰り返し練習して徐々に点数を上げていくほかない。『イッキによめる名作選 1年生』が終了。初めのうちは一緒に読んでとせがんでいたが、2年生のテキストに入る頃には、自分で読んでクイズに答えられるようになっている。朗読暗唱も、石川塾オリジナルテキスト『学問のすすめ』を終了し、次の音読プリントに入った。やる気満々♡次々に合格していく♡読む力がついてきているようだ。これからどんな本を選び読むようになるのか楽しみだ。公文の課題は2年生の教材を始めた。毎日2枚ずつ取り組み順調に進んでいる。定規を使ったり、mlやdlなどのかさを実際に確認したり、自分で工夫して勉強しようとする姿も見られるようになった。何でも楽しめてしまうのは次女の才能だ♡

《写真上: 齋藤孝のイッキによめる! 名作選 2年生/齋藤孝(編集)/講談社

写真下: 漢検 9級 過去問題集 2021 年度版/日本漢字能力検定協会》

アンとアナの本棚

「ジュニア空想科学 読本 20」

柳田理科雄 / KADOKAWA



「ロウソクの科学 世界一の先生が教える 超おもしろい理科」

ファラデー / KADOKAWA



「いちばんよくわかる! ウサギの飼いや暮らし方」

町田修 / 成美堂出版



「ふたりはともだち」

アーノルド・ローベール / 文化出版局



「すみっコぐらしのことわざ 108」

有沢ゆう希 / 講談社



パパ日記 いつまで

4月から勤務地が変更となりここ10年くらいでは一番忙しい職場となった。子どもたちもそれを感じていて「パパ最近あんまり家にいないね」と残念がったり、たまに早く帰ると喜んでくれたりといちおう必要とされている感があるのでありがたい。でも玄関にダッシュで走ってくる回数は減ったような気がするなあ…。そのうち帰宅してもスルーとかされまいかとマイナス思考になることもあるが、大きくなれば自然とそうなるってものなのだろう。自分は男子だったから両親(特に母親)はもっとそう思ったことだろう。中学、高校時代はほとんど親と話をしなかった記憶がある。年頃の男子はそんな子が多いのではないのでしょうか。さて我が娘二人はどんなふうになるのか。楽しみがほとんどで少し不安もありつつ成長を見守っていきたいと思います。まあパパが家にいるといちいち色々とうるさいのでいないほうが良く育つのかもしれません。

●4 歳～6 歳クラス（年少～年長）／小学生クラス（小1～） 月曜と水曜と金曜 午後 3 時～5 時

●中学受験（小4～）・理科単元学習（小4～） 月（算数）水（理科）金（社会）午後 5 時～6 時

<幼児クラス（就園児）の授業※親子で一緒に学ぶクラス>

「～読み書き算数・思考力～」具体物を使って基礎から丁寧に♡小学校入学準備♡

- ◆石川塾では小学校に入学したときに、教科学習にスムーズに取り組めるように「かず」「りょう」「かたち」の概念が理解できるところから「すいり」まで、**学習の基礎を丁寧に**教えていきます。また、子どものつまずきや、理解度に合わせた指導をしていきます。**※年長で算数検定 11 級(小1レベル)合格できるように導きます。**
- ◆楽しみながら、リズムよく朗読暗唱♪日本地図・世界地図パズルでひらがな・カタカナの読み書きの練習♪絵本の音読学習♪白川静文字学に学ぶ漢字学習♪小学 6 年生までの漢字の読みを始めます♪

<小学生クラス※最初は親子一緒に♪徐々にひとり立ちへ♪>

「～読み書き算数・思考力・読解力～」すべての基礎は国語力♡たくさんの作品を読みます♡

- ◆石川塾では、学年に関係なく朗読暗唱♪学年の漢字の読み♪を優先して学習を始めます♪それもこれも国語力を高めるため♪漢字の書き取りでは、**6 年生で漢検準 2 級合格を目指し取り組んでいます♪**
- ◆本の要旨要約に取り組む準備として、「イッキによめる！名作選」「ゼッタイこれだけ！名作教室」でクイズや好きな文章の抜き書きにチャレンジ♪
- ◆算数では、単元学習を推奨し一人ひとりに合わせた学習プランを用意します♪算数検定にチャレンジし先取り学習することもできます♪

<中学受験・理科単元学習クラス※内容は生徒の状況により変更することがあります>

「～読み書き算数・思考力・読解力・記述力～」やりたいこと♡やるべきこと♡をとことん♡

- ◆月曜日(算数):単元ごとの副教材を作成し、問題集に取り組みます♡やさしい問題からしっかりと♡
- ◆水曜日(理科):『生物・生命科学大図鑑』ノートづくり講座♡調べ学習でオリジナルノートを♡
- ◆金曜日(社会):『漫画 サピエンス全史』のノートづくり講座♡『サピエンス全史 上下』も読みながら♡

●「小学校受験サポート」年少から・時間はご相談ください

●2 歳～3 歳 ホームメイド・モンテッソーリ講座

●月曜と金曜 午前 10 時～12 時※親子で一緒に学ぶクラスです

子どもが自分から集中して何度も繰り返す行動をよく観察し、環境と指導を提供します。

◎教室にある 24 種類の教材を中心に、お子様の『敏感期』の成長を促す教材を提示♪

◎教材はご自宅でも取り組みができるよう、月に 1 度お母様と一緒に教材を作ります♪

◎ちょっとしたこと、気になること…子育て相談は、いつでも歓迎♪



子どもが何かを発見した時の“ニパッ♡” わかったときの
“ニコッ♡” と表情が輝く時間を体験しませんか。

生徒募集中！紹介者には謝礼あり！

体験授業は 3 回無料です。まずは授業体験を…お待ちしております。

お問合せは…TEL042-710-5768 読み書き算数 石川塾

担当:ワタナベミツキ

★講師プロフィール:わたなべ みつき★2児の母(小学4年生:小学校受験/小学1年生:幼稚園受験/女の子2人)

★資格:(公財)日本数学検定協会認定資格「幼児さんすうインストラクター」/ホームメイド・モンテッソーリ認定講師

★他に看護師国家資格あり 大学病院・療養型病院に勤務経験★石川塾に7年前から親子で通塾し、石川塾長のノウハウを教わる★石川塾にて「ワークショップ」「Weekly・Monthly」「千の声 VOICE」を担当

<<読み書き算数 石川塾 からの VOICE>>

●石川塾の肝心要の要旨要約テキスト上級編♡●

●中高大受験生ほか誰でも受講できます♡いつでも受講可能♡●

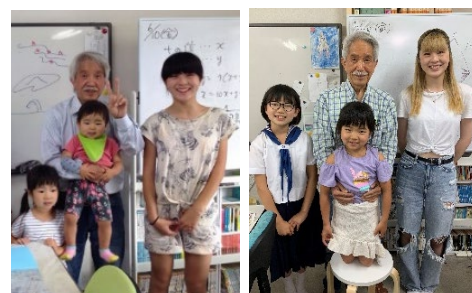
◆読書量が質を変えます♡「甕藤孝のイッキによめる! 名作選 小学1年生~中学生」「読解力がグングンのびる! 甕藤孝のゼッタイこれだけ! 名作教室 小学1年生~6年生」

「使える!『徒然草』」「理想の国語教科書 青版赤版緑版」の課題が終了したら、次は石川塾長が塾生のために特に選んだ図書で要旨要約の力を徹底的に鍛える講座♡♡♡
♡♡♡中学高校大学受験生の読解力・記述力はこの講座でぐんぐん伸びます♡♡♡



- 『調べてみよう、書いてみよう』(最相葉月/講談社)
- 『白川静さんに学ぶ 漢字は楽しい』(小山鉄郎/新潮文庫)
- 『スラムダンクな友情論』(齋藤孝/文藝春秋)
- 『日本の歴史(全7巻)』(渡部昇一/ワック)
- 『天皇皇后両陛下が受けた特別講義 講書始のご進講』(KADOKAWA)
- 『夢十夜』(夏目漱石/岩波文庫ほか)

お申し込み・お問合せは石川塾まで♡電話 042-710-5768



<左:5年前><5年後現在小4・小1・喜寿・高2>

□塾の遠足「ききたい」「たずねたい」「参加したい」(いつでもなんでも気軽にコール/☎042-710-5768)

●わが子と遊ぶ/わが子と歩む/わが子の歩み/わが子に学ぶ/鎌倉逗子葉山海浜を歩き土の道を歩く/塾の遠足はほぼ毎月/家族友だち知人どなたでも参加できます/2歳からの読み書き算数塾・大人のための石川ゼミ/本がいっぱいの教室/夢中な本/午前・午後・夜間いつでもお越しください/お友達の写真はホームページでご覧になれます ■「町田 読み書き算数塾 石川ゼミ」検索■

●スタッフ・浅沼花音からの VOICE●スタッフとして働き始めて約10ヶ月が経ちました。この10ヶ月間では子供の成長の早さに驚かされることが多くありました。できなかったものができるようになり、成長していく子供達の姿を見ていると、可能性は無限大なのだと感じさせられます。将来の夢である保育士になるために、子供達から多くのことを学び、子供の成長の手助けをして行きたいです■

●編集長・渡邊光樹からの VOICE●「日本の災害」をテーマに。まだ記憶に新しい東日本大震災で、初めて津波の脅威をテレビ越しに見た。海水が異様に引いているにも拘らず、海岸近くには人影があり、車も走っていた。どうして避難しないのだろう…そう思っているうちに津波が襲いかかっていた/リチャード・ロイド・パリー『津波の霊たち~3.11 死と生の物語~』には、「山へ逃げよう」「津波はここまで来ない」等大人たちの言い争いが記されている/被災地には情報が届かない。言い伝え、流言飛語などの不確かな情報が人心の錯乱を引き起こし、判断を鈍らせ、生死を分かつ■

□ホームページの「new 体験学習ガイド」欄に(俳句と写真■写真:kumi■/幼児教室/石川ゼミ/国語専科)を掲載しています

●編集兼発行人・石川剛からの VOICE●2011年3月11日の東日本大震災の津波で大川小学校の児童74人と教職員10人が犠牲になった/2019年10月最高裁は市・県の上告を棄却/震災前の学校の防災対策に過失があったと認めた二審仙台高裁判決が確定した/先生は児童生徒を無事家に帰す責任がある/二人の児童が教師に対して言った「先生、山さ上がっぺ」「おれたち、ここにいたら死ぬべや!」(リチャード・ロイド・パリー『津波の霊たち~3.11 死と生の物語~』より)/1923年9月1日の関東大震災で小4の父は姉に手を握られ猛火から一昼夜逃げ回ったあとと暫く手が離れなかったと■

□石川塾長に「ききたい」「たずねたい」「参加したい」(いつでもなんでも気軽にコール/☎042-710-5768)

□<2021年 秋号「千の声 VOICE」第14号>令和3年9月25日発行■HP「千の声ボイス」にバックナンバーを掲載

■〒194-0021 町田市中町1-30-8 菅井町田ビル2F/町高通り・税務署近く■☎042-710-5768